

The background features several abstract, organic shapes in light blue, beige, and white. Some shapes contain patterns like diagonal stripes or small dots. A large, light blue circle is centered on the page, serving as a backdrop for the text.

アンケート補足資料
こども計画の
策定について

静岡市では、こども計画策定の準備をしています

静岡市では、「(仮称) 静岡市こども計画」を策定するため、準備を進めています。計画の概要について、現在の検討状況をお伝えいたします。こども・若者・子育て支援当事者のために、重点的に取り組むべき施策など、皆様のお考えをお聞かせください。

1 こども計画ってなに？

現在、少子化の進行や、共働き世帯の増加、働き方・ライフスタイルの変化に伴い、子育て支援に対するニーズは多様化しています。

また、児童虐待、不登校、ヤングケアラー、貧困、生きづらさや孤独・孤立の問題など、こども・若者を取り巻く課題も複雑化しています。

こうした状況を踏まえ、静岡市では、全てのこども・若者が心身ともに健やかに成長し、自分らしく幸せに暮らすことができる社会の実現を目指し、こども・若者・子育て当事者を支えるため、「(仮称) 静岡市こども計画」を策定し、支援の取組を進めていきます。

2 誰のための計画？

「(仮称) 静岡市こども計画」は、市内のすべてのこども・若者、子育て当事者、こども・若者を取り巻く社会のすべての構成員（家庭、地域、学校、職場等）の方のための計画です。その方たちへの様々な支援の施策を掲載します。

乳幼児期 (0～5歳)	学童期 (6～12歳)	思春期 (13～18歳)	青年期 (19～29歳)	ポスト青年期 (30～39歳)
こども				
			若者	

(※)こども・若者には、国籍や障がいの有無等にかかわらず、全ての方を含みます。

3 計画の期間は？

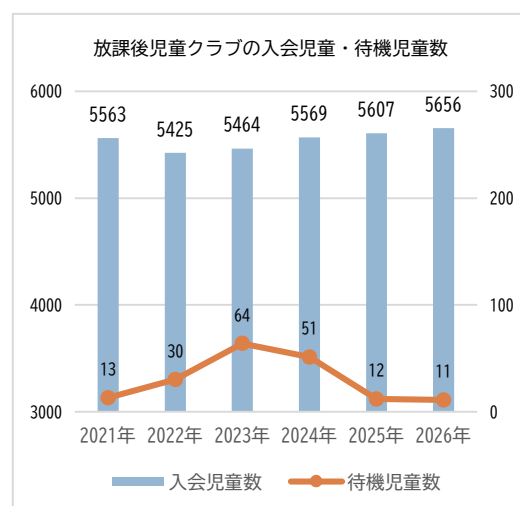
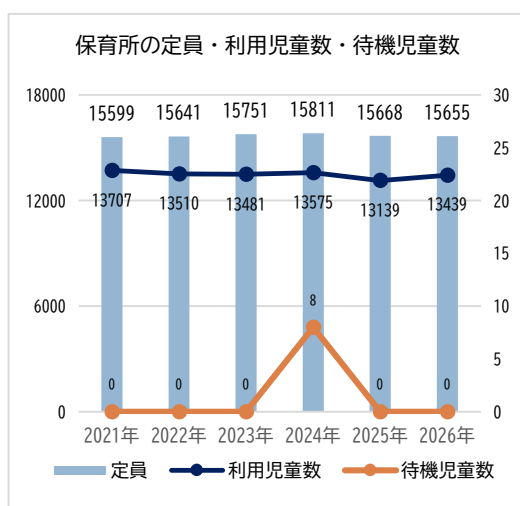
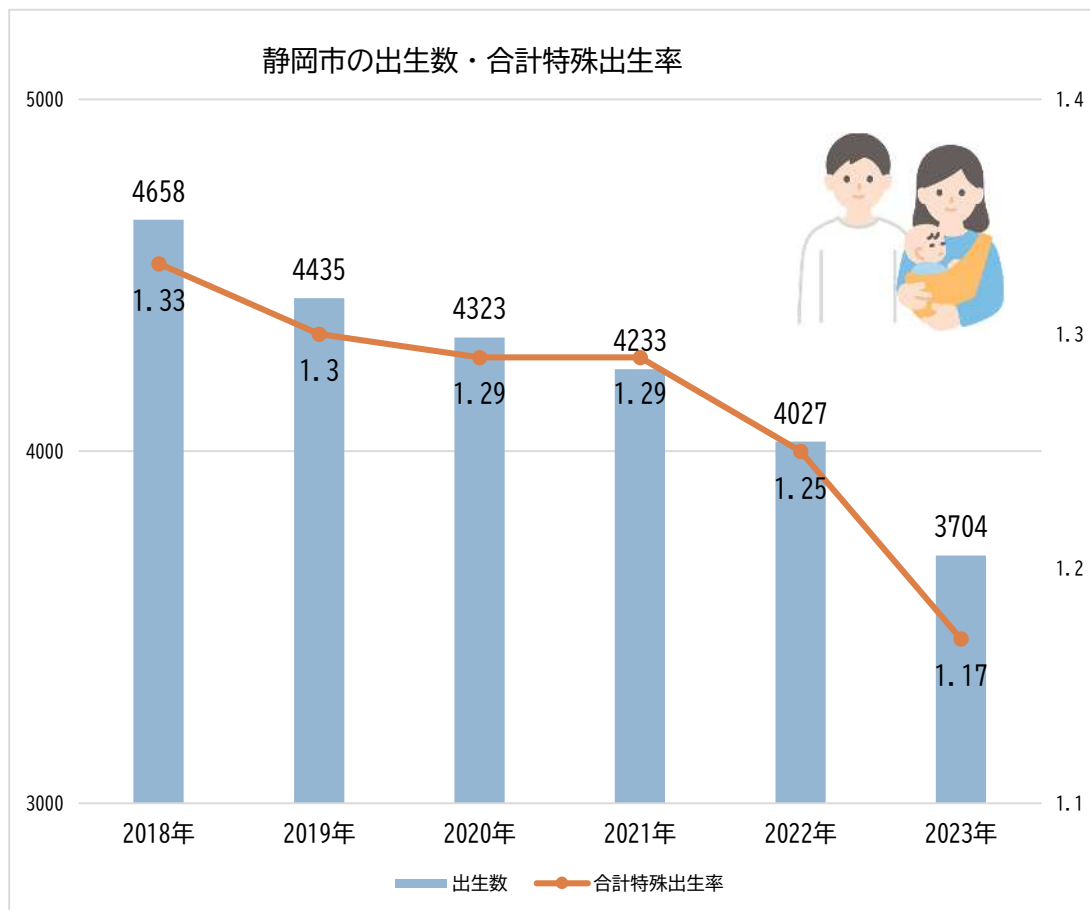
計画の期間は、令和9（2027）年度から令和17（2035）年度までの9年間です。計画の進捗状況や社会環境に大きな変化があった場合は、必要に応じて見直しを行います。



4

静岡市の現状

静岡市においても、毎年の出生数は減少しています。一方で、共働き世帯の増加により、保育所や放課後児童クラブの利用者は、増加傾向にあります。



5 計画で実現したいこと（目指すところ）

静岡市では、こども・若者を将来の担い手としてだけでなく、いまを生きる一人の主体として尊重し、家庭、地域、学校、企業、行政などが相互に支え合いながら、こども・若者と子育て当事者が幸せに暮らせる社会を目指したいと考えています。

目指すところ

温かい地域社会に支えられ、
日本一安心してこどもを産み育てることができ、
こども・若者が健やかに育つまち『しずおか』

6 計画で具体的に取り組むこと

計画では、『目指すところ』を実現するため、次の視点を大事にして、支援の施策を考えます。

視点1 こども・若者を権利の主体として尊重する

全てのこども・若者が、年齢、障がい、家庭環境、国籍、性別、性的指向・性自認等にかかわらず尊重され、あらゆる場面で、その最善の利益が考慮されるまちを目指します。

視点2 こども・若者、子育て当事者の声を聴き、ともに進める

計画の策定、実施、評価、見直しの各段階で、こども・若者や子育て当事者の意見を聴き、対話を通じて施策に反映します（アンケート、ワークショップ、ヒアリングの実施など）。

視点3 ライフステージに応じて切れ目なく支える

妊娠前から妊娠期、出産、乳幼児期、学童期・思春期、青年期に至るまで、保健、医療、福祉、教育、雇用、住まい、地域活動等の関係分野が連携し、支援の切れ目や制度の狭間を生じさせない体制をつくります。

視点4 困難を抱えるこども・若者を早期に把握、包摂的に支援する

貧困、虐待、障がい、医療的ケア、ヤングケアラー、不登校、ひきこもり、自殺リスク、犯罪被害、外国にルーツがあることなど、複合的な困難を抱えるこども・若者に対し、早期把握と伴走型支援を進めます。

視点5 若い世代の希望の形成と実現を支える

若者が将来に希望を持ち、学び、働き、暮らし、結婚や子育てに関する希望を選択できるよう、教育、キャリア形成、就労支援、経済的基盤の安定、相談体制の充実を一体的に進めます。